南平小学校長寿命化改修事業　第１回ＣＳ委員会共有　要点録

１．開催日時場所ほか

（１）日　　時　令和８年 10 月 31 日（土）午後 12 時 00 分～午後 12 時 40 分

（２）場　　所　南平小学校　３階図書室

（３）出席委員　濱田委員（保護者）、大須賀委員（地域住民）、大村委員（地域住民）、栗栖委員（地域住民）、平委員（地域住民）、丹野委員（地域住民）、野澤委員（対象学校の運営に資する活動を行う者）、久野委員（関係機関の職員）、平野委員（関係機関の職員）、千葉校長、長塚副校長、嘉門主幹教諭

（４）説明者　　日野市教育委員会教育部庶務課　櫻井課長補佐
明豊ファシリティワークス　藤咲、浅野（日野第一小学校改築及び南平小学校長寿命化改修に係る基本計画策定支援業務受託者）

２．配布資料　　南平小学校長寿命化改修事業　第１回ＣＳ委員会報告資料

３．要点録

庶務課　　基本計画の現在の進捗状況、意見聴取結果（小学校教員へのアンケート結果）、配置方針・建設ステップの検証結果についてお伝えする。なお設計や工事等の一連の事業を計画的かつ効率的に進めるため、当該事業に係る基本計画を策定することとしている。

（１）事業スケジュールについて

「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画(以下、推進計画)」では工事完了を令和11年度までと設定したが、精査し、現在は令和13年度までと想定している。

（２）事業の概要

南平小学校では、長寿命化改修により建物の耐久性向上を図るとともに、増築を行い、機能向上も含め検討を進めている。現在は18学級であるが、令和12年以降は14～15学級と減少する見込みであり、この傾向も考慮して規模の設定をしている。

（３）検討の進捗状況

調査と課題整理は完了しプランを検討している。多様な学習形態を考慮した面積の精査に加え、地域開放、避難所運営、環境対策について検討中である。発注方式も並行して検討している。

（４）意見聴取（小学校教職員アンケート結果概要）

今後の学校における教室まわりのプランを検討するため、小学校の教職員を対象にアンケートを行った。学校運営のしやすさの観点から、黒板とホワイトボードの選択、児童用収納の教室内外への配置、オープンスペース(以下、ＯＳ)のあり方等について、質問した。

（５）事業規模、配置計画の考え方について

機能を整理すると面積が不足しているため、現在プールがある場所に校舎の増築を計画している。改修時は、教育活動への影響を抑えられるよう一時的に仮設校舎を利用することとなる。

（６）建設ステップのイメージ

建設ステップ１～５の各段階があり、学校が教育活動として利用できる範囲や工事範囲が変化する。小さいながらも児童が利用できる仮校庭は常に維持できるように配慮している。

（７）プール施設の方向性

現在の屋外の学校プールは、老朽化が進行していること、天候により水泳授業ができない日が増えていること、教職員による水質管理負担が大きいこと等の課題があり、現状維持も難しくなってきている。この課題も踏まえ、南平小において、プールは、新たに設けない方向で考えている。その理由としては、気温上昇により将来的に屋外プールの運営が困難になると見込まれるが、屋内プールの整備費は非常に高く、新たに設置していくことは財政上難しいためである。

・その他

次回の２月にお伝えする内容は、地域開放、防災、校舎内部レイアウトの報告を予定している。

委員　　平山小でも取り入れているオープンスペース（ＯＳ）のメリットについて、教えてほしい。

庶務課　　ＯＳは、学年集会やグループ活動を実施しやすい点が評価されている。一方、音への配慮が必要であり、技術的な対策による解決を図りたい。また、ＯＳの面積を増やすと整備費も増加する。既存の校舎の改修には制約はあるが、ＯＳを確保できるよう検討している。

委員　　日野第一小は改築、南平小は長寿命化改修とあるが、違いを教えてほしい。

庶務課　　推進計画では、各校の築年数やコンクリート強度の調査結果に基づいて整備方針を定めている。南平小は、校舎を全面的に建て替えるのではなく、躯体を残して改修する予定である。

委員　　内装材にアスベストは含有されていないか。

庶務課　　アスベスト含有建材は、使用されている可能性はある。調査して、含まれている場合は、適切な方法で撤去する。

委員　　プール跡地に校舎を増築するとのことだが、増築校舎と既存校舎はどのように接続するのか。

庶務課　　増築校舎と既存校舎を、バリアフリーに配慮して接続する計画としたい。

委員　　開放的な教室について、平山小は３学級ごとにエリアを扉で区切る形状となっているが、学年の学級数増減にはどのような対応となるのか。

庶務課　　平山小では、３学級に収まらない学年もあった。南平小では、将来的に６学年のうち、３学年が３学級、残る３学年が２学級となる見込みであり、各学年を適切に配置できるよう検討していきたい。

委員　　知人から、廊下側が開放されていると外の動きが目に入り、児童が授業に集中し

にくいと聞いている。また、学年エリアを区切ることで、算数教室等としての活用がしづらくなるのではないかと懸念している。あと、児童用収納の配置にあたっては、盗難防止への配慮も検討する必要があるのではないか。

庶務課　設計段階で、教員の意見も取り入れながら具体的に検討したい。

委員　建築設計者の選定がどのように行われたかは把握していないが、日野市の建物は、完成後に利用すると中途半端な印象を持つことがある。周囲の意見を聞き、妥協をせず良い施設を整備してほしい。

庶務課　これまでは、基本計画策定業務や設計業務の事業者を価格のみで選定していた。今後の教育施設整備では、技術提案等も含めて選定を進めたいと考えている。

委員　工事車両が北側から出入りする時期があるが、学童クラブへの行き来はどのようになるか。

庶務課　工事車両と学童クラブ利用者の動線は課題であると認識している。学童クラブへの行き来に支障が生じないよう、今後、担当部署と協議・検討を進める。

以上